

# 【緊急レポート】新型肺炎とその影響 ⑦

参考・出典：日本経済新聞より

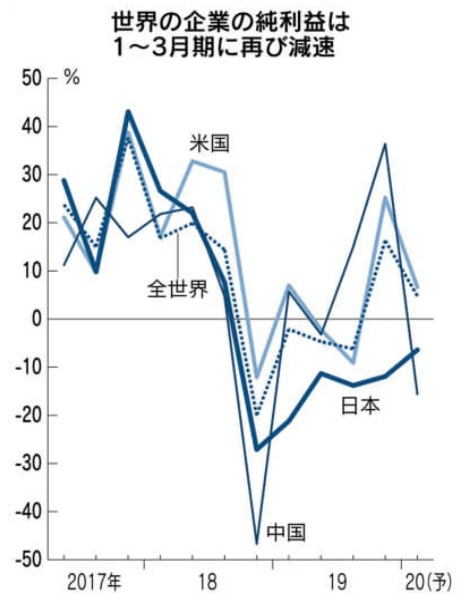
## ■ 世界の企業、業績回復が急減速 新型肺炎打撃

企業の純利益は2019年10～12月期に前年同期比16%増と5四半期ぶりにプラスへ転じたが、20年1～3月期は5%増と急減速する見通し。

中国は16%減益となる予想、日本は製造業を中心に下方修正が相次ぐ投資家からは業績回復の腰折れ懸念が浮上。

- ・世界の企業業績は回復基調が弱まり、市場予想では1～3月期の世界の増益率は5%と、10～12月期よりも11ポイント低下する見通し
- ・新型肺炎の感染拡大が止まらない中国は16%減とマイナスに転じる米国も7%増と10～12月期(25%増)から伸びが鈍る。

中国では自動車メーカーの業績への懸念が特に強く、新型肺炎による生産や営業活動の停滞が響き、1月の中国の新車販売は前年同月比で18%減少、電気自動車(EV)大手の比亞迪(BYD)は42.7%減少

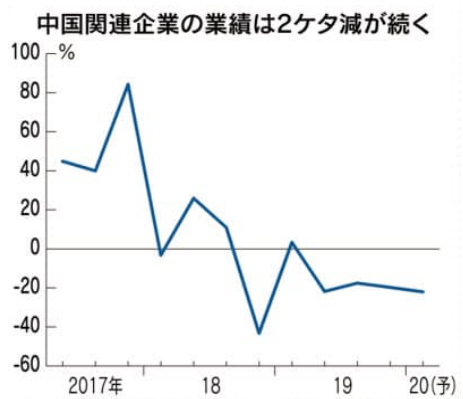


(注)純利益の前年同期比増減率、海外企業はQUICK・ファクトセット。決算未発表の海外企業はアナリスト予想。日本の20年1～3月期は会社予想ベース



工場の稼働遅れなどで代替策を探る企業が相次ぐ

コマツ	機械	中国で調達している部品を日本やベトナムでの生産・調達に切り替え検討
ダイキン工業	機械	武漢工場の停止が長引けばマレーシアなどで大型空調機の代替生産を検討
アシックス	スポーツ用品	湖北省の工場に委託しているシューズ生産をベトナムとインドネシアに移管
中国安琪酵母	食品	海外子会社の工場での増産を検討。欧米・アジアにパン酵母などを販売
中国廈門盈趣科技	車向け電子部品	中国内の工場は再開したがマレーシアやハンガリーの工場を増強



(注)純利益の前年同期比増減率、日経中国50構成銘柄のうち3月期決算の41社を集計

## ■ 世界の資源需要下振れ

エネルギー機関(IEA)は13日、1～3月期の世界の石油需要が前年同期比で日量43万5千バレル減るとの予測を発表、四半期ベースの前年割れは10年半振り製造業の稼働再開が遅れ、鋼材の原料である鉄鉱石も安値が続ぎ、中国需要の落ち込みが長引くと懸念が市場で強まっている。

中国の石油需要は世界全体の14%

- ・国際指標であるニューヨーク市場は米国とイランの対立激化で中東情勢が緊迫した1月上旬から2割超値下がりし、19年1月以来の安値圏
- ・アジア指標のシンガポール市場の取引価格は春節前の1月下旬比で10%下落、約2年半ぶりの安値圏

19年の中国の鉄鉱石の輸入量10.6億トン、世界の輸入量のうち中国は7割を占める

- ・国際指標のオーストラリア産の中国北部行きスポット価格は、春節休暇前に比べ約8%安い

